

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ヘルスアセスメントⅠ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	看護の対象者を身体的だけでなく精神的、社会的視点から健康状態を査定するヘルスアセスメントは看護職に欠かせない能力となっている。ヘルスアセスメントⅠでは、概要を講義で学び、健康に問題を持つ対象者の身体的情報を評価する方法PBLを用い、グループワークにより理解を深め演習を通し実技(フィジカルイグザミネーション)を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	学習効果を上げるためには、「人体構造機能学」を復習することで、身体の機能を評価する必要性を理解し、機能評価としてフィジカルイグザミネーションを学ぶ。				
教科書	看護がみえるVol3 フィジカルアセスメント/医療情報研究所/メディックメディア				
参考書	系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②/著：有田清子ほか/医学書院(2冊指定)				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ヘルスアセスメントが理解できる。		HSU (2)、NS (1) ～ (5)		
②	人体機能の評価する方法としてフィジカルイグザミネーションが理解できる。		HSU (2)、NS (3)		
③	バイタルサイン測定の意味を理解し測定することができる。		HSU (2)、NS (3)		
④	フィジカルイグザミネーションを実施し対象者の健康状態を考えられる。		HSU (2)、NS (3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ヘルスアセスメントの概要を学ぶ。	講義	(予習) 事前課題の提出	1	
2	フィジカルイグザミネーションの概要を学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
3	バイタルサイン測定を理解する。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
4	血圧測定部位・測定機器を理解する。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
5	血圧測定方法を理解する(触診法)。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
6	血圧測定方法を理解する(聴診法)。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
7	呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
8	循環器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
9	呼吸器系・循環器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
10	腹部のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
11	脳神経のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
12	中枢神経系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
13	バイタルサイン測定ができる(技術試験)。	演習	技術試験準備	1	
14	バイタルサイン測定ができる(技術試験)。	演習	技術試験準備	1	
15	筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習) 事前課題の提出	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	30	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①	✓	定期試験においてヘルスアセスメントの概要理解やフィジカルイグザミネーションの目的、方法を理解する。技術試験において対象者への対応方法を確認する。					テストの解答を掲示板に公表 技術については、結果を個人に提示する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
他 担 当 教 員	坂本文子							
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は、病院の看護師として20年の臨床経験を有する。							
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導の下、実践に沿った場面を提示しフィジカルイグザミネーションの方法を学ぶ。							
そ の 他	受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更がある。							